

別記第4号様式(第5条関係)

### 串本町議会一般会議実施報告書

開催日時	令和4年4月26日(火曜日) 18時30分～19時36分
開催場所	串本町役場 2階 委員会室
出席議員	串本町議会 総務産業建設常任委員会 委員長 五十川 清紀 副委員長 清水 健太郎 委員 橋爪 和雄 委員 角 寛 委員 吉村 聡一郎 委員 水口 崇 串本町議会 議長 鈴木 幸夫
参加者数	13人(議会7人、参加団体6人)
実施内容	○観光・ロケット等について ・ロケットの打ち上げに伴う観光協会の役割等について
意見等	別紙のとおり
その他	傍聴人 1人(芝山議員)

令和4年6月14日

串本町議会議長 鈴木 幸夫 様

報告者 総務産業建設常任委員長  
五十川 清紀

串本町議会一般会議 報告書

団体名	南紀串本観光協会（会長 島野 利之 外5人）		
開催日	令和4年4月26日（火曜日）	会場	串本町役場 2階 委員会室
開始時間	18時30分	終了時間	19時36分

テーマ	○観光・ロケット等について ・ロケットの打ち上げに伴う観光協会の役割等について	
意見交換会でのやりとり	質問・意見	回答
	コロナ禍の影響で2年ほどイベントは中止になっているが、今後は開催する方向で進んでいるのか。	4月に予定していたビーチフェスタ2022は、雨天中止となったが、6月以降のイベントについては、全て開催していきたいと思っている。
	23年前に望楼の芝で行ったフェスは、大変盛り上がったと聞いている。そのような大規模なイベントを、毎年決まった予定で行うということは考えられないか。	23年前に開催されたフェスは、積極的に活動された民間の有志と行政がうまくコラボして成功した。民間が絡んでいかなければ、なかなか盛り上がりを感じない。半官半民である観光協会が、大きな裏方として力になってやっていくというのは、一つの方法であり、すごく可能性のあるイベントではないかと思う。
	串本町はロケットの町と言われているが、田原にしか看板がない。積極的にロケットの町として売り出していくのであれば、色々な観光地に看板やモニュメントを設置してはどうか。スペースワンから許可をもらう必要があると聞いているが、盛り上げていくために、まず看板を立てたいと思うがどうか。	看板やモニュメントは絶対に欲しいというところはある。ロケットの打ち上げは月に2回ぐらいの頻度であるため、常時は観光客が来ても見るところがない。そういった面で、モニュメントやロケットのシアターは必要になってくる。目に見えるもの（イメージできるもの）を整備して欲しい。
	修学旅行とロケットの打ち上げをコラボさせてもいいと思う。	ロケットとのコラボという部分で、当方でロケットガイドを養成しており、現在9名のガイドがいる。ホテル滞在中にガイドを派遣してロケットの話をしったりしている。
	観光協会は色々なイベントを行っていて、ありがたいと思っている。今後はインスタ映えするような、どこにもまねのできないメニューに取り組んでいただきたい。	観光のメニューの中に、ぜひロケットのガイドを入れていきたいと思っている。
	教育旅行がかなり増えてきていると聞いている。体験型メニューを一生懸命やってもらっていると思うが、コロナ禍でどのくらい収益が上がっているのか。	教育旅行は3年前で約12~13校来ていたが、コロナになって逆に急増しており、昨年は57校と約5倍になっている。今年はまた増える予想で、十数年前から取り組んでいる体験型の観光が報われてきたのかなと思っている。

	質問・意見	回答
意見交換会でのやりとり	ロケットを見に来たお客さんと既存の観光メニューをひもづけていくことが重要になってくると思うが、具体的にどう考えているか。	紙媒体や SNS 等で発信していける。ロケットが打ち上がるまでの期間を滞在される方に、何かをしてもらうという部分を重視していかなくてはならないと考えている。
	ロケットの打ち上げを見に来る人は1週間から10日ほど滞在すると聞いているが、滞在中のメニューを作っておいて、観光してもらうというイメージか。	そうです。現在行っている体験観光が評価されているのは、サブメニューがきちんとあるからで、これができない場合はこれというのを準備している。ロケットの打ち上げに際してもそれが一番大事になってくると思う。
	観光協会とロケット推進室のコンタクトは取れているか。	常時では少ないが、昨年からはロケットのワークショップと一緒にやっており、これから一緒にやらなくてはいけないと思う。ロケット打ち上げ時には役割を分担し、観光に関することについては観光協会がやらなくてはいけないと思っている。
	ロケットが打ち上がるのは何十秒間だけで、打ち上がるまでは、ずっと待っている状態になるため、飲食できる露天商に入ってもらって、一大イベントにしてほしいと考えているが、観光協会としてはどのように考えているか。	第1回の打ち上げについては、JTB が取り仕切るということが県で決定しており、会場は有料で、料金を支払った方しか入れないこととなっている。露天商については、観光協会ではかかわれない。
	ロケットの打ち上げ時には、前日から来る人も多く、宿泊も大きなチャンスだと思うが、計画等はあるのか。	計画があるかはわからないが、関係者だけで半分以上埋まってしまうのではないかとされており、一般の方がどれくらい泊まれるかは微妙なところ。那智勝浦町や白浜町等、近隣の地域へも宿泊することになると思う。
	現在、観光協会は古座と串本の駅にあるが、今後インターチェンジが出来た時に、車の集まるところに観光協会は置くべきだなと感じているがどうか。	3年後には高速道路もつながるため、観光協会としてはぜひそちらにスペースを確保して、そこを拠点にしたいというのは重々思っている。自転車（レンタルサイクル）は現在の場所のほうがよい。
	古座分庁舎をリノベーションしていて、IT会社が入ると聞いている。古座地区の活性化につながるため、サテライトオフィスとして観光協会に使って欲しいと思う。	こちらから入りたいという話ではないが、そのようになればいいとは思っている。
	情報発信をする上で、マンパワーは足りているか。	頭数的にという意味では、充足していると思うが、個人の技量面でもう少し勉強が必要。
	関東圏からも観光客に来てもらいたので、LCC や、夜行バスの串本地区への乗り入れがあればよいと考えるがどうか。	ダイビングをされる方は夜行バスの利用はそこそこある。紀伊半島は関東から注目されていると思うので、LCC はこの辺りのエリア全体で団結して入ってもらえるようになれば、盛り上がると思う。

	質問・意見	回答
意見交換会でのやりとり	観光協会がしている他の取り組みについて教えてもらいたい。	川でのカヌー体験をしているが、川でできないときには海、川も海も難しい時には、また何か別のこと等、まだまだ新しいことを考えていきたいと思っている。
		コロナでバイクの需要が増えた。バイカーの方たちは横のつながりが強いので、うまくつながりを持てたらと考えている。
		教育誘致は、現在順調に進んでいる。コロナが落ち着くと、東京や沖縄や九州へという話が出てくることが考えられるので、ほんまもん体験や、ロケット、旧古座庁舎の施設等をプログラムに取り入れつつ、海だけでなく山でも体験観光ができるような新しいプログラムも開発しながら、コロナが落ち着いた後も、串本町へ来てもらえる取り組みを考えている。
		3年前からパラグライダーにも取り組んでいて、現在適地を探している。
		串本町は空気がきれいで空もすごくきれいなため、星のソムリエということで夜空に注目する話がある。芝のほかに重畳山等、良い場所はあるが、駐車場やトイレなどが必要となってくるので、観光協会では話を詰めて、また皆さんに話を聞いていただきたい。